

- 日 時：令和7年11月29日（土）13:00～14:45
- 場 所：清泉女学院中学高等学校@鎌倉市
- 参加者：11名（中3：4名、高1：2名、高2：3名、高3：2名）
- 講演者：ムーンショット目標5 竹山春子プロジェクトマネージャー（PM）

■応募背景

令和7年8月に実施した、「食と農」に関わる千葉プログラムディレクターの講演を踏まえ、探究学習の第二弾として、論文探究で得た知識が研究や社会課題とどう結びつかを理解し、学びの意義を深く感じられる機会を提供したい。また、女性研究者の経験や価値観に触れることで、生徒自身が自らの将来像を具体的に描き、主体的に選び取る力を育むきっかけとしたい。

■概 要：

<竹山PMの講演・質疑応答>

竹山PMは、女性研究者として農学から微生物研究へ進んだきっかけを語り、気候変動や化学肥料による土壤劣化など、現代農業が抱える課題を示されました。さらに、ムーンショット型研究開発制度による循環型農業への挑戦について紹介されました。講演では、文理の枠を超えた多様な視点や総合知の重要性を力強く呼びかけられ、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。質疑応答では、生徒から「相性の悪い微生物同士を組合せた場合の対処方法」や「微生物を別の土地に導入した際の生態系への影響」など鋭い質問があり、竹山PMも感心していました。

<竹山PM・技術者とのグループワーク>

ムーンショット目標5の論文探究に取り組んできた生徒たちは、グループに分かれ、その過程で見つけた疑問を技術者と直接議論しました。論文探究を行っていない生徒たちは、大学の選び方や研究環境など、各自が関心を持つ話題について竹山PMと意見交換を行いました。専門家への質問や他者との対話を通して、生徒たちは自身の関心が研究や社会課題と結びついていることを実感し、進路を主体的に考える力を育むきっかけとなりました。

■交流会後の生徒の感想（アンケートより抜粋）：

- ・農地を野菜だけに使わずビジネスにつなげるのにびっくりした／興味の幅が広がった
- ・食と農の分野を調べ、改善点を考えたい／自分の疑問に詳しく答えていただき良かった
- ・大学で学びたいことを考えたい／ELSIの話が印象に残った／微生物について分らないことが多いということに驚いた

<目標5 竹山プロジェクトマネージャーの研究開発プロジェクト>

「土壤微生物叢アトラスに基づいた環境制御による循環型協生農業プラットフォーム構築」 <https://www.microbe-soil.sci.waseda.ac.jp/>



竹山PMからの講演



質疑応答の様子



竹山PM・技術者とのグループワーク

